

# 埼玉佛教

令和3年10月 第228号

令和3年10月22日 発行  
No.228

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 倉持 秀裕

<http://saibutu.net>

印刷所 関東図書株式会社



ウイズもろやま（福祉会館）



編集後記	4
事務局日誌	4
計 報	4
新年年賀名刺広告について	4
越生町の紹介	3
毛呂山町の紹介	3
第42回埼玉県佛教徒大会	2

目 次

# 第42回埼玉県佛教徒大会

期日 令和3年11月15日（月）

会場 ウィズもろやま（福社会館）

大会テーマ

『一步前へ どんな困難も必ず乗り越える』

日 程

13:00 開 場

14:00 開 会

アトラクション

越生里神楽保存会の皆さま

14:15 開会行事

①法 楽

②挨 拶

ア主催者あいさつ

イ来賓あいさつ

③諸連絡

（休 憩）

14:50 記念講演

『神仏を感じ、神仏を信じて』

～歩き続ける力～ 人生のエベレストを目指して

三浦 雄一郎氏（冒険家・プロスキーヤー）

16:00 閉 会



## 毛呂山町の紹介

西部は自然が残る外秩父山地、北東には岩殿丘陵がかすめ、東部は水田が広がる低地、中央部をJR八高線と東武越生線が走り4つの駅を利用することができます。鎌北湖から飯能市の天覧山まで奥武蔵自然歩道が伸び、観光客がハイキングなどに訪れています。

し、凱旋の際に再びこの毛呂山町を訪れて流鏑馬を奉納したのが始まりとされており、950有余年続いています。射手となる乗り子は、秋は町内の15歳前後の少年が務め、春には7歳未満の男児が乗り子となります。

### ゆず

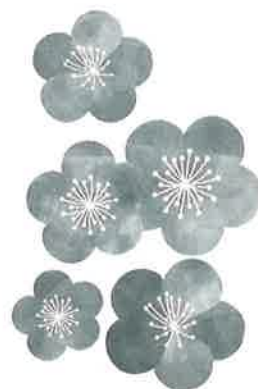
ゆずの名産地である毛呂山町で栽培されている「桂木ゆず」は日本最古の生産ゆずといわれ

## 越生町の紹介

ています。「桂木ゆず」は水はけがよく、北風が吹かず、霜があまり降りない毛呂山の気候風土に適していて、実が大きく、肉厚で香りが強いのが最大の特徴です。

### ゆず

花が咲き誇り、ほのかな香りが辺りを包み込みます。



### 流鏑馬

埼玉県指定無形文化財として、流鏑馬が出雲伊波比神社にて毎年春と秋に行われます。康平6(1063)年源頼義・義家父子が奥州平定のために戦勝を祈願



埼玉県のほぼ中央に位置し、外秩父山地と関東平野の接点にあり、町のほぼ中央を越辺川が還流している緑豊かな風光明媚な町で、四季折々の景観と花を楽しむことができ、全国初の「ハイキングのまち」を宣言しています。

### 越生梅林

関東三大梅林の1つに数えられている越生梅林は、白梅、紅梅のほか、越生梅林など、周辺の一部には約2万本の梅の木が植えられています。開花時期には、さながら雲海のように梅の



梅とともに、越生町のゆずは埼玉県内一の生産量を誇っています。越生のゆずは香りが高く果肉が厚いのが特徴で、ジャムやようかん、ワインなど多彩な製品が販売されています。

### 新年年賀名刺広告

について

令和4年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に年賀名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)

金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、原稿をFAX【048(864)6649】又は郵送にて、事務局までお送りください。後ほど事務局から確認の連絡をいたします。過去の年賀名刺広告と同じ場合は、お電話でも承ります。【発行後、掲載紙と振替用紙をお送り致します】

申込先

埼玉県佛教会事務局

〒330-0063

浦和区高砂4-13-18

☎048(861)2138

### 訃報

お悔やみ申し上げます。

令和3年 2月

11日 久喜市廣福院(智山)

山岡 武秀 師(75歳)

元・代議員

6月

4日 さいたま市総持院(智山)

日下 照貞 師(85歳)

### 事務局日誌

令和3年 7月

26日 ▼「埼玉佛青」写仏

8月

13日 ▼夏季休暇(〜15日)

18日 ▼県佛大会・打合せ(埼玉佛会館)

会館)

9月

1日 ▼第72回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会会場抽選会(埼玉会館)

玉会館)

7日 ▼「埼玉佛青」写仏

9日 ▼「人権埼玉」代表者会議

(埼玉人権・同和センター/金子局長)

ター/金子局長)

28日 ▼「埼玉佛青」総会(埼玉佛会館)

館)

29日 ▼県佛大会・会場下見

(ウイズもろやま/金子局長、大塚書記)

局長、大塚書記)

10月

1日 ▼「埼玉同宗連」役員会(埼玉佛会館)

佛会館)

延期

2日 ▼全日本仏教徒会議島根大会(オンライン)

会(オンライン)

11日 ▼「埼玉佛青」、浦和仏教会

共催「梵字勉強会」

12日 ▼「埼玉佛青」写仏

### 編集後記

アメリカ大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手は二刀流として歴史的なシーズンを駆け抜けた。打者として46本の本塁打を放ち、投手としても9勝をあげ、野球界だけでなく、日本を巻き込んで今年の顔となった。

更に、アメリカプリンストン大学の真鍋淑郎博士のノーベル賞受賞も話題となった。全世界の課題である気候問題に関する先駆的な研究を続けた業績が評価された。好奇心あふれる明るい研究者、とても魅力的だ。お二人とも、日本を離れていくことが少し残念ではありますが、新型コロナウイルスに振り回された日々、両者の明るさや、真摯な姿勢が最高の栄養剤となりました。